

■ あなたの好きなスポーツは何ですか? 「野球、サッカー、ゴルフ、テニス、アメフトなど」 球活アンバサダーPROFILE

# 鳥海佐和子 Toriumi Sawako

横浜国立大学 出身地:東京都

#### 【趣味】

「写真を撮ること。自分の目で見たものをそのまま表現したり、もしくはそれ以上の美しさを創造することができるのは面白いことで、なにかの力を借りて自己表現をすることがとても楽しみです! 最近はRICOHのTHETA SCなどでも撮影しています。あとスポーツ観戦。野球やサッカー、バスケ、アメフトも好きです」

### 【特技】

「スイーツ作り。シュークリーム、マカロン等、大抵のケーキは作れるようになりました。近いうちに パイ生地作りも試してみたいです。自分が考えた組み合わせのケーキや焼き菓子も作っていきた いです。料理全般もレシビを見れば大抵のものは作れます。家庭的な料理が得意で普段も自炊を しています。

#### 野球に興味はありますか?

「あります! 女子からするとルールを覚えるのに少し時間がかかりますが、どうしてこんなに日本において人気が浸透し、人気を誇っているのか、それは野球の持つスポーツとしての面白さにあると思うんです。観戦するのも楽しくてテレビでやっているとついチャンネルを変えずに見入ってしまうんです」

#### 好きな野球チームは?

「基本、全チームを応援しています。しいて言うならばセ・リーグは、横浜DeNAベイスターズ、読売ジャイアンツ、東京ヤクルトスワローズ、広島東洋カープ。パ・リーグは埼玉西武 ライオンズ、オリックス・パファローズ、千葉ロッテマリーンズ、福岡ソフトバンクホークス、東北楽天ゴールデンイーグルスなどです」

#### そのチームを好きになったきっかけは?

-「周囲の影響で巨人など色々なチームを応援していました。大学入学後は、ベイスターズを応援する機会が増えました」

#### 野球を見たことはありますか?

-「テレビで見ることが多いです。これから積極的に球場にも足を運び、大声を出して応援したいです」

#### 野球をやったことがありますか?

-「キャッチボールは、よくしていました。もっと速い球を投げたり、バッティングもしてみたいです」

#### 野球を観たいと思いますか?

「すっごく観たいです! 会場の臨場感や熱気を感じながらの試合観戦は、テレビと違った魅力がありますね。ここ最近、いろいろなスポーツの観戦へ行くのですが、本当にそう思います」

## 野球を観戦するとしたら誰と観に行きますか?

「女性同士だったら、楽しく女子会をしたいです。美味しいものを食べて、お揃いのユニフォームを着て可愛いく応援したいですね!! 男女だったら、何人かで、野球観戦の前にバッティングセンターで実際にワイワイした後に球場へ行きたいですね。一体感も生まれて、より楽しく観戦できる気がします!家族とだったら、いつもより少し良い席で、おいしいものを食べながら観戦したいです」

### 野球観戦に行きますか?

「これまでは1シーズンで2~3回でしたが、これからは少なくても月に3~4回は行きたいです」

### あなたにとって野球とは?

「日本にとっても大切なスポーツ!! 開幕戦になると春本番を思い、オールスターゲームで夏を感じて、日本シリーズで晩秋を…プロ野球のスケジュールで四季を感じたりもしていますね。あとチームや選手の成績も気になりますが、やはり1年を通して、ひた向きに頑張るその姿を見ることができるのも野球ですよね。

### 野球への思い

「野球はもちろん好きです。特に大学入学後は、周囲にベイスターズファンを中心に野球が大好きな友達や知り合いが増えたので、より興味や観戦する割合が増えました。まだ野球への興味がない方にも、少しでも野球の面白さや楽しみ方を知って頂けるように満身で頑張ります」

#### 野球界レジェンドの共感するお言葉

-「失敗と上手に付き合っていくためには、やはり"どうにもならないこと"ではなく"今、自分にできること"に集中するしかありません(松井秀喜)」

いつでも心がけていることは、努力を尽くそう、今の自分のベストを出し切ろうということです。それでも上手に行かない、失敗することの方が多いんです。心が折れそうになっても、いつでも自分に言い聞かせるようにしています"今、自分にできること"をしようと。松井選手のように、努力を惜しまない、常に頑張る姿勢に共感しました。

## 球活アンバサダー任命を受けて

「多くの方々に、プロ野球選手の方々のパーソナル部分を知って頂けるような取材内容を読んで頂けるように頑張ります。プロ野球選手って、とても凄い方々ばかりですよね。一方で、普段は各選手、とても個性的で試合からは見えてこない"人としての魅力"があります。そういう垣間見える部分を知って頂きながら、より野球選手を好きになって頂きたいです。あと野球の楽しみ方の1つとして"楽しい観戦方法"なども調査して、定期的に情報配信させて戴きます」